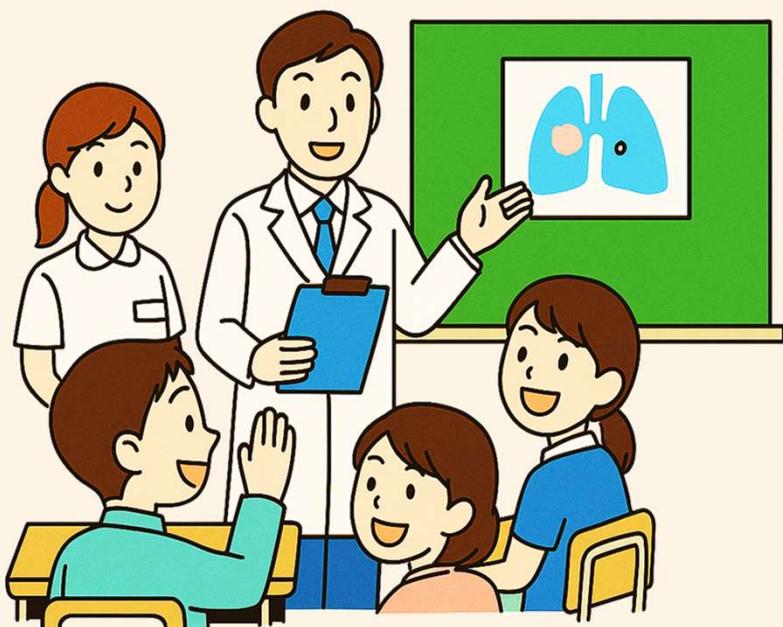


医療現場から 学校へ！ 健康の特別授業



がんは日本人の死因第1位。児童生徒に対して、がんに関する正しい知識と、がん患者やその家族への理解を深めることが重要です。そのため、文部科学省では、医療従事者を外部講師として活用することを推奨しています。

そこで、本年度から県内のがん治療の中心を担っている「がん診療連携拠点病院」から医師や看護師等を外部講師として学校に派遣する事業を開始しました。



謝金
不要

学校の費用負担
はありません

医師や看護師といった医療技術者等から直接、がんについて学べる貴重な機会ですので、本事業の活用をぜひ御検討ください。

なお、がんに限らず、生活習慣病の予防など幅広くお話できます。

内容や時間等は御希望に応じて調整可能ですので、御相談ください。

(申込から授業までの流れは別紙参照)

生徒からの声（授業後の感想）

- がんになっても、差別したりしない。今までどおりに接する事がとても大切だと思った。
- 今までがんが悪いイメージがあったけれど、がんになっても生活続けることができるんだなと思った。
- 自分はがんにより家族を失ったことがあるので、がんに恐怖を覚えていたけど、がん対策が分かったので気持ちが楽になった。

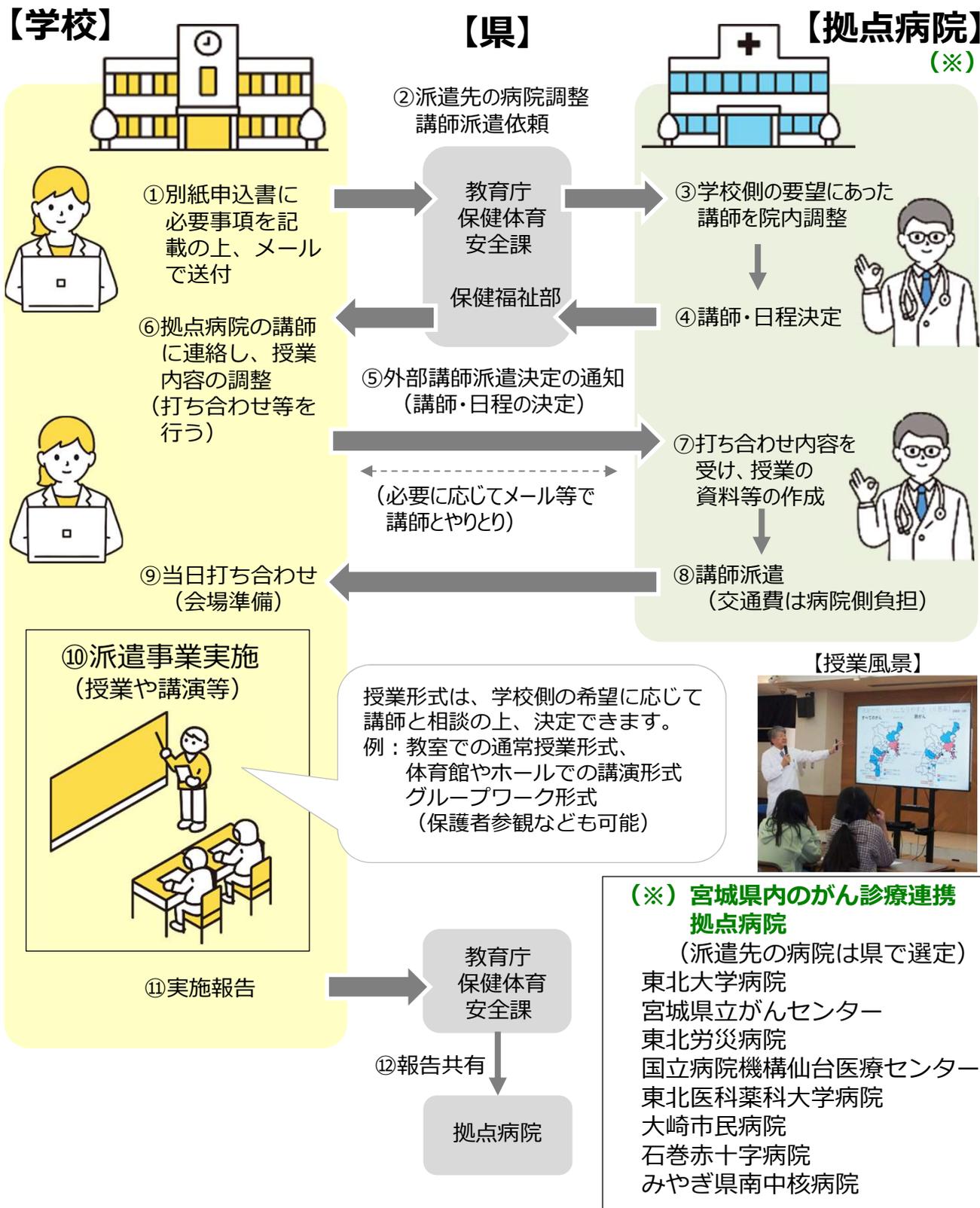


令和7年度から派遣事業開始しました！

【県立学校、市町村立学校の場合】

(仙台市教育委員会所管の公立学校については、県保健福祉部にお問合せください)

がん教育外部講師の派遣依頼から当日までの流れ



外部講師派遣に関するお問い合わせ先

担当：宮城県教育庁保健体育安全課 学校保健給食班

電話：022-211-3666 E-mail：hokenah@pref.miyagi.lg.jp (班代表)